

阪神間モダニズム 昭和に生きた建築を語る

【実施日】

参加無料・事前予約

11/27(月)

【時間】13:30~15:00 (受付は30分前より)

【定員】90名

【会場】西宮市民会館 中会議室401(4F)

西宮市六湛寺町10-11 西宮市役所南隣 阪神電車西宮駅下車北すぐ



<講師プロフィール>

1971年東京都生まれ。建築史家。大阪公立大学教授。早稲田大学理工学部建築学科卒業。同大学院修了。博士(工学)。日本近現代の建築史の研究と並行して、建築の価値を社会に広く伝える活動を行っている。著書に『京都 近現代建築ものがたり』(平凡社、2021)、『神戸・大阪・京都レトロ建築さんぽ』(エクスナレッジ、2019)、『伊東忠太建築資料集』(監修・解説、ゆまに、2013・14)、『古阪隆正とル・コルビュジエ』(日経社、2005)など多数。日本最大の建築公開イベント「イケフェス大阪」、「京都モダン建築祭」、リビングヘリテージデザイン、東京建築アクセスポイントのいずれも立ち上げからのメンバーとしての活動などがある。日本建築学会賞(業績)、日本建築学会教育賞(教育貢献)、グッドデザイン賞グッドデザインベスト100ほか受賞。

講師
倉方 俊輔 氏
大阪公立大学 教授



六甲山脈を背骨とし、大阪と神戸に挟まれた地域を阪神間と呼ぶ。このお話は、明治の幕開けから大正、昭和にかけて、大阪から居住地を求めて集まった新しいライフスタイル【阪神間モダニズム】について語ります。阪神間に今も残る建築物(公的なもの・宗教施設・学校・私邸など)をスライドを交えながら解説いたします。

講師はまちたびにのみのみやのモダニズムツアーもガイドいただいている建築史家の倉方俊輔氏。関西を中心としたレトロビルの保存活動や建築家に関する多数の著作を発表しています。専門家による解説は当時の生活様式を彷彿とする内容です。ぜひこの機会に聴講ください。

参加費は無料、申し込みは先着予約制です。

右の二次元コードをスマホで読み取り、まちたびにのみのみやホームページよりお申し込みください。



【主催】一般財団法人 山本清 記念財団

【協力】西宮市・一般社団法人にしのみや観光協会

【問合せ】まちたびにののみや運営事務局 Tel 078-945-8088 受付時間 9:30~18:00 ※定休日 土日祝



文教住宅、平和非核、環境学習
三都市宣言周年記念ロゴマーク

MACHITABI
NISHINOMIYA